

文学部創立50周年

花ひろくいどばと文化の教育

学部長 廣瀬 玲子



専修大学文学部の創立は1966(昭和41)年であり、今年で50周年を迎えます。本学文学部は教育と研究の分野が幅広いことが特徴です。当初の国文学科、英米文学科、人文学科の3学科は、現在では日本語学科、日本文学文化学科、英語英米文学科、哲学科、歴史学科、環境地理学科、人文・ジャーナリズム学科の7学科と人間科学部(心理学科、社会学科)へと発展しました。



▲ 第1回「高校教員対象研修プログラム」(2006年8月) 教員を紹介する荒木学部長(当時)

業論文を必修としていたことを伝える力を身につけて卒業します。4月から、文学部では50周年を記念し、シンポジウムや展示、演劇などいくつかの行事を予定し

ています。人文・社会科学は決して無用の学ではなく、人の営みの歴史と現在について深く考え、よりよい未来を作り出すための、知の継承である。

記念企画

- A・ゴシック・ファンタジー「Hart Potter」の正しい読み方教えます(シンポジウム)
- B・ジャーナリズムのいま「新聞・テレビ・出版」の力(出張授業・シンポジウム)
- C・こころの付き合い方：地域に根ざす相談室として(シンポジウム)
- D・伊能忠敬の地図と近代日本の夜明け(伊能大図展示・シンポジウム)
- E・「東日本」と「阪神」——大学生が歩いた被災地の記憶——(パネル展示・シンポジウム)
- F・翻訳がひろく未来(シンポジウム)
- G・柴田義之演劇公演『こい』『榎物語』(演劇公演)
- H・戦争の歴史とわたしたち——戦争を体験する、伝える、記憶する——(シンポジウム)

教育充実へ 寄付お願ひ

創立50周年を記念し、「文学部及び人間科学部の教育・研究活動の充実を目的とした寄付の募集を開始いたしました。関係者各位のご理解を賜り、ご協力のほどお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
趣旨・使途：専修大学文学部創立50周年記念企画実施委員会
E-mail: bunshu@uisc.senshu-u.ac.jp
senshu-u.ac.jp
募金の方法・免税・募金
03-3265-3157

ため込まず、相談を。

本学では、学内における「ハラスメント」を受け取られないこともありメント(いやがらせ)とされる行ないます。しかし、受けた側にとって耐えや言動を、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントの三つに大別しています。

大学の授業やゼミ、部活やサークルなどの場では、交流を通じてさまざまな人間関係が生み出され、その中では程度に差はあれ、誤解や摩擦、トラブルが日々起こります。楽しいはずの飲み会やカラオケで、断っているのに「雰囲気壊す気がと飲酒や歌うことや酌を執拗に勧められる。ゼミやアルバイト先で「大学生なら言わなくてもこのくらい気を利かせて」とめめられる。授業で先

生が指導してくれない。これらはハラスメントの一例にすぎません。対策室には2人の本学職員が常駐し、また教職員17人が相談を發揮してやり過への対処に当たっています。我慢す

ごす人もいるかもしれませんが、私たちがいます。一緒に解決の道を感ぜ方、程度や状況 探していきます。により、同一の行為 (キャンパス・ハラスメントでも必ずしもハラス

妖怪が大集合

4月 図書館企画展
図書館企画展「春にやってくる江戸の妖怪大集合」向井信夫文庫を中心として、4月1日(金)から29日(金)まで、生田キャンパス図書館本館で開催される(日曜及び5日を除く)。



た資料51点を展示する。主な展示は、江戸中期の絵師・鳥山石燕の「百鬼夜行」、十返舎一九「化物太平記」、曲亭馬琴作、葛飾北斎画「新撰解脫物語」など。江戸時代、恐れつとも庶民が愛した物語の数々を間近に

見る事ができる。また、昨年しくなった水木しげる氏の著書など、妖怪を扱った現代の作品もそろえる。企画展は平日11時~16時、土曜9時~12時。入場無料。図書館04-911-1274

専修人の新しい本

人ならぬもの
鬼・禽獣・石



廣瀬玲子編著
本間次彦・土屋昌明著

中国の古典のなかに登場する鬼(死者の霊と禽獣(動物)と石。三つの「人ならぬもの」を中国ではどのように考えてきたのか。そこには、壮大なスケールの世界観や、人とその文化に対する考え方が反映されている。本書は、「鬼について」「禽獣について」「石について」の3章から成り立っている。中国語、

高島准教授が海外研究員に

相馬学術奨励基金
若手研究者の海外派遣



高島准教授は4月1日から1年間、オランダのアムステルダム大学で、ヨーロッパにおけるアジア陶磁器交易について研究する。

学位取得

松井暁経済学部教授
写真が12月28日付で一橋大学から博士(経済学)の学位を授与された。学位論文名は「自由主義と社会主義の規範理論——価値理念のマルクス的分析——」。



吉田震太郎氏(よしだ しんたろう)元経済学部教授
2月6日、88歳で死去。1988年から97年まで在職。主な担当は財政学。